

令和6年度使用小学校教科用図書
調査研究結果報告書

社会・地図



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
社会	2	東書	新編 新しい社会

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の目標達成に結び付く内容であり、学習指導要領に示されている内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げている。 ・3年では、生活科との関連から、体験活動が多く取り入れられている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の内容及び取扱いに準じて取り上げる内容を選択するとともに、児童の発達段階に配慮した具体的な内容記述になっている。 ・問題解決的な学習が重視され、各教科及び学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学習できるよう内容を重点化し、單元ごとに十分な学習活動を保障できるよう端的な字数で構成されている。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な内容は区別されており、本文や「問い」に関連した資料が掲載されていて、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷が鮮明で挿絵や写真が見やすく、目に優しい色を基調としている。 ・文字は、書き文字に近い教科書体が使用（UDフォント、カラーバリエーション）され、児童の発達に配慮した適切な大きさの文字が使われている。
教科ごとの選定の観点	<p>観点1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャラクターを用いて、社会的な見方・考え方（「位置や空間の広がり」「時期や時間の経過」「事象や人々の相互関係」「比較、分類、総合、関連」）を働かせて、問いを解決していくように促している。 ○「まなびのポイント」を基に、深い学びを実現する「深める問い」の例示がある。「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階を意識し、問題解決的な学習を重視しており、すべての単元に、単元のめあて、小単元の学習問題、本時のめあてを明示している。 <p>観点2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4年「きょう土の伝統・文化と先人たち」の単元では、愛媛県の文化財や年中行事の歴史的背景とその保存や継承の取組、熊本県の山都町の大地に水を引いた布田保之助の業績を当時の課題や人々の願いについて取扱い、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解できる内容になっている。 ○5年「国土の地形の特色」の単元では、山地や平地、川の分布、降水量、平均気温等が示され、その理解を助ける写真やグラフ等の資料がある。白地図にまとめたり、国土の地形の特色を考えたりする学習活動を行う構成になっている。「低地と高地」「暖かい土地と寒い土地」を選択して、人々の暮らしや産業について学習できる構成になっている。 	

観点3について

○QRコンテンツに写真、イラスト、地図、グラフ、インタビュー動画、ワークシート、思考ツール等様々な資料が掲載され、「学び方コーナー」「やってみよう」「調べること」で調べ方や考え方が具体的に示されている。また、「まとめる」学習段階では、調べて分かったことを地図や表、文章でまとめる方法が示され、学習の進め方を学ぶことができる内容になっている。

観点4について

○4年「住みよいくらしをつくる」の単元では、限りある水を使い続けるために自分たちにできることを話し合う活動、6年「わたしたちのくらしと日本国憲法」の単元では、日本が抱える諸課題を解決すべき優先順位について思考ツールを用いて表現し、考えの理由を伝えながら議論する学習活動が設定されているなど、単元終末に設定された「いかす」のページによって、今日的な教育課題について学習内容を生かして社会事象への自己の関わりについて選択・判断したことを様々な方法で表現する学習を展開することができる。

観点5について

○6年「わたしたちの生活と政治」の単元では、終末に「公園づくり」という場面設定を行い、人々の願いを多面的・多角的に捉え、どのようにとりまとめていくかを考える活動が位置付けられている。この体験活動により、自らの生活と政治のつながりを主体的に学ぶことができる。

観点6について

- 3年「わたしたちのまち みんなのまち」「はたらく人とわたしたちのくらし」の単元では福岡市、あまおう農家、明太子工場など福岡県内の事例を多く取り上げており、児童にとって身近でかつ地域に親しみがもてる内容になっている。また、「いかす」場面では、地域社会の一員としての自覚をもつことができる活動を位置付けている。（「市を宣伝する」「特産品のキャッチコピーを考える」「新聞をつくる」などの学習活動）
- 6年「世界の未来と日本の役割」の単元では、世界の諸課題とSDGsを関連付け、支援に関わる日本人を取り上げることで、我が国の将来を担う国民としての自覚や世界の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる内容になっている。

観点7について

- 6年「日本とつながりの深い国々」の単元では、調べる観点を衣食住や学校の様子など明確に示し、日本との相違点を考えることで特色を理解することができる内容になっている。
- 6年「わたしたちの生活と政治」の単元では、「子育て支援」と「震災復興」を地域の実態に合わせて選択して学べるようになっており、国民の生活と政治の働きにつながりに関心を高めるような内容になっている。

観点8について

- 4年「自然災害からくらしをまもる」の単元では市や県の取組、住民同士の協力、家庭での取組を取り上げ、自然災害を公助・共助・自助の面から考えることで、自然災害における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫・努力等が分かる内容になっている。
- 5年「自然災害を防ぐ」の単元では、「地震」「津波」「風水」「火山、雪」の4つの自然災害の種類ごとに構成され、国や自治体の対策や事業を学習

することができる内容になっている。

観点9について

○5年「情報化した社会と産業の発展」の単元では、ニュース番組が作られるまでの仕組み、医療や運送、生活の様々な場面で情報化が進んでいること、情報モラルについて学習ができるようになっている。また、農業や水産業、林業がかかえる課題として、農業で働く若い人の減少と高齢化、後継ぎ問題について記述がる。

観点10について

○4年「わたしたちの県」の単元で白地図に都道府県名をまとめる活動や都道府県の特産品の紹介ページが設定され、我が国の47都道府県の名称と位置を身に付けることができる内容になっている。また、単元内に地図帳の内容や使い方について解説した「学び方コーナー」が見開き1ページで設定され、学習を通して地図活用能力を身に付けることができる内容になっている。

○5年「世界の中の国土」の単元では、正距方位図法とメルカトル図法の両方が掲示されている。地図上に地形と17カ国の国の位置と国旗、名所、名産品等が分かりやすく配置されおり、大陸毎に色分けされている。国名に穴あきの箇所があったり、位置が示されていない箇所があったりすることで、地球儀や地図帳を使って調べる学習と連携している。

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会	17	教出	小学社会

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	・学習指導要領に示されている各学年の内容を不足なく取り上げている。
	2 内容に関する配慮事項	・学習指導要領の内容及び取扱いに準じて取り上げる内容を選択するとともに、児童の発達段階に配慮した具体的な内容記述になっている。 ・探検や観察など生活科の学習活動を振り返りながら社会科へつなげる特設ページが設けられている。
	3 分量	・1単位時間の内容が見開き1ページで構成され、学習と指導の両面から分かりやすく、見通しをもちやすいように工夫されている。
	4 使用上の便宜	・巻頭にもくじや学びのてびき、タブレット型コンピューターの活用方法や見方・考え方、学習の進め方等、児童が見通しをもって主体的に学ぶための工夫がなされている。 ・1冊で構成されている。問いを例示するとともに、その問いが連続発展するような構成になっている。また、選択単元が多く、地域の実態や児童の興味関心に沿った学習を展開することができる。
	5 印刷・製本等	・文字や資料などの資料は鮮明で、色彩もビジュアル性が高く、写真やイラスト等の発色が美しい。 ・文字は、書き文字に近い専用の教科書体を使用（UDフォント、カラーバリアフリー）され、児童の発達に配慮した適切な大きさの文字が使われている
教科ごとの選定の観点	<p>観点1について</p> <p>○社会的な見方・考え方（「時期や時間の変化」「比べる」「関連付ける」「場所や広がり」「工夫や関わり」「統合する」）を説明するページが各学年に位置付けられている。また、キャラクターが語る言葉が太字で強調されていて、社会的な見方・考え方の働かせ方を提示している。</p> <p>○見開き1ページに「問い」「活動」「次につなげよう」と1時間の学習過程が構造的に示されている。</p> <p>観点2について</p> <p>○4年「県の地図を広げて」の単元で福岡県の地理的環境について、「地域で受けつがれてきたもの」の単元で、福岡県東峰村の小石原焼と太宰府市が取り上げられている。また、5年「自動車の生産にはげむ人々」の単元で、苅田町日産自動車九州工場、「国土の自然とともに生きる」の単元で福岡県の棚田の写真が掲載、「環境をともに守る」の単元で北九州市の公害とエコタウンの取組みが取り上げられている。教材として、子ども達に身近な福岡県についての内容が数多く取り扱われている。</p> <p>○5年「国土の地形の特色」の単元では、山地や平地、川の分布、降水量、平均気温等が示され、その理解を助ける写真やグラフ等の資料がある。地形と気候の関係を捉えることができる構成になっている。「低地と高地」「暖</p>	

かい土地と寒い土地」を選択して、それぞれが調べたことを比較したり、気候と産業の関係を考えたりする学習ができる構成になっている。

観点3について

○イラストや地図、2次元コード・コンテンツが掲載されている。読み取らせたい要素が精緻に描かれた絵画資料や「自分で調べて考えるページ」、関心や意欲に応じて活用できる「もっと知りたい」のページなど児童が主体的に学習できる構成となっている。

○3年「わたしたちのまちと市」の単元の導入ページをイラストで示すことにより、読み取らせたい要素が焦点化されて示されている。「わたしたちの市のあゆみ」では導入ページで、「わたしたちのまちと市」の導入ページと同じ構図で比較することができ、変化をとらえやすくなっている。

観点4について

○4年「ごみはどこへ」の単元では、ごみを減らすために自分たちにできることについて話し合う活動や、4年「地域でうけつがれてきたもの」の単元では、地域でうけつがれてきたものを守り伝えるために自分達にできることを話し合う活動が設定されている。各学年、単元終末の「つなげる」の段階で社会に見られる課題の解決に向け、社会への関り方を選択・判断したり、それらを表現したりすることができる内容になっている。

観点5について

○身近な社会事象との関わりの中から問題を見出し、解決に向けて考え合い、表現し合いながら主体的に追及していく構成・展開になっており、単元末のまとめにおいては、「図や表の作成」「子ども会議の開催」「メッセージ作成」「タイトル作り」「リーフレット作成」「年表の作成」などの様々な形式でのまとめ学習が設定されている。

観点6について

○地域教材を活用できるよう、身近な人・もの・ことが例示され、実際に見学したり触れたりして調べる学習活動が重視されている。また、歴史学習では、国家及び社会の発展に貢献した先人の働きや思いに焦点を当て、今の国家と繋げて考える学習展開で国を愛する心情を養うことができる。

観点7について

○6年「わたしたちの暮らしを支える政治」の単元では、単元末に学びを生かして、自分が住むまちの政治について学級で考え「子ども会議」を行う活動が設定され、政治への参加と投票率について考察する内容になっている。また、6年「世界の中の日本」の単元では、世界の様々な課題解決の取組と NGO やユニセフなどの各種機関と世界各国の課題解決と具体的な人々の関わりを考える活動が設定され、世界の国々との関わりや政治の動きに関心を高めるような内容になっている。

観点8について

○4年「自然災害にそなえるまちづくり」の単元で、静岡県地震や津波から人々を守る活動について、公助・共助・自助の面から調べたり考えたりする活動を通して、自然災害時における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫・努力等が分かる内容になっている。

観点9について

○6年「わたしたちの暮らしを支える政治」の単元では、人口減少、少子化、

高齢化を社会問題として取り上げ、日本の人口減少の事実や及ぼす影響を調べることを通して、社会の課題を身近な問題として捉えることができるように展開している。

観点10について

- 4年「みりよくがいっぱい！知りたいな、47都道府県」、「県の地図を広げて」の単元では、等高線について詳しく解説したページが設けられ、学習活動を通して地図活用技能を習得できる内容になっている。
- 5年「世界の中の国土」の単元では、2枚の正距方位図法で掲示されている。地図上に地形と19カ国の国の位置と国旗が示されている。名所、名産品等についての資料は2ページで配置されおり、万里の長城等名前も記載されている。

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
社会	116	日文	小学社会

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の目標達成に結び付く内容であり、学習指導要領に示されている内容を不足なく取り上げている。 ・今日的な課題に関わる内容を取り上げている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の内容及び取扱いに準じて取り上げる内容を選択するとともに児童の発達段階に配慮した具体的な内容記述となっている。 ・問題解決的な学習が重視され、各教科及び学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されている。 ・次学年につなぐために、学習内容や身に付いた資質・能力を振り返り、巻末に次学年の学習が見通せる特設ページがある。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領(社会科)に示された目標に則り、学習指導要領の内容をもれなく扱い、単元を適切に構成・配列している。 ・児童の主体的・対話的な学習が展開できるように内容の重点化が図られ、小单元ごとに十分な調べ学習や話し合い活動などができるよう、適切な時数が配当されている。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な内容は区別されており、本文や「問い」に関連した資料が掲載されていて、学習の深まりに有効に働くよう配置されている。 ・1冊で構成されている。問いを例示するとともに、その問いが連続発展するような構成になっている。また、学びを深める協同的な学習になることを促すように話し合いの様子を漫画形式で例示する等の工夫をしている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷が鮮明で挿絵や写真が見やすく、目に優しい色を基調としており、文字は、書き文字に近い専用の教科書体が使用(UDフォント、カラーバリエーション)され、児童の発達に配慮した適切な大きさの文字が使われている。
教科ごとの選定の観点	<p>観点1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的な見方・考え方を働かせることができるように「空間の視点」「時間の視点」「関係の視点」の各視点を示唆するキャラクターが掲載されている。 ○社会科の学び方が身に付くように「問題を発見する」「問題を追究・解決する」「問題を掘り下げて未来へつなぐ」の学習過程で単元が構成されている。 <p>観点2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○4年「地域の伝統や文化と、先人のはたらき」の単元で長崎市の年中行事や文化財の歴史的背景とその保存や継承、栃木県塩原市的那須疎水を開いた当時の課題や人々の願いについて取扱い、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解できる内容になっている。 ○5年「国土の地形の特色」の単元では、山地や平地、川の分布、降水量、平均気温等が示され、その理解を助ける写真やグラフ等の資料がある。地形や気候の特色を調べたり、話し合ったりする活動を行うために、ノートや話し合いの様子が例示されている。 <p>観点3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○QRコンテンツに写真、イラスト、地図、グラフ、インタビュー動画、ワー 	

クシート、思考ツール、アプリ、シミュレーション、スライドショーなど様々な資料が掲載され、個別最適な学びを支えたものになっている。

観点4について

○4年「ごみのしよりと活用」「自然災害から命を守る」の単元終末に自分たちができることについて考え発表し合う「深め合い」活動が設定され、協働的学びを通し、学習内容を生かして社会事象への自己の関わりについて選択・判断する学習ができる。「深め合い」のページには、話し合い活動での発表、質問、質問への回答が具体的な台詞で示され、学びを深める話し合い活動のイメージをもたせやすくなっている。

観点5について

○6年「わが国の政治のはたらき」の単元では、単元末に学習問題について考えたことを様々な発表例を挙げて、話し合いの具体的なやり取りを提示している。「さらに考えたい問題」を設定して、具体的な社会問題の考察をまとめたページを設定している。

観点6について

○3年では、各単元末にSDGsと学習内容をつなげる特設ページがあり、身近な事例、世界の課題へ視野を広げる、複数の目標から多角的に考えることで、未来を担う国民として自覚、世界の国々との協力を意識させることのできる内容になっている。

観点7について

○6年「日本とつながりの深い国々」では、世界の国々を調べる活動で、調べる観点を経済や歴史において日本とのつながりや人々の暮らしを重視した調べ学習を計画している。

○6年「わたしたちの願いと政治のはたらき」では、待機児童についての問題をあげ、核家族化や共働き世帯、専業主婦世帯のグラフを取り上げ、社会的背景を示している。足立区の例を挙げて政治と人々の願いのつながりを学ぶ展開、単元末に提案書の作成を行う。

観点8について

○4年「自然災害から人々を守る活動」の単元で風水害、地震、津波、火山、雪による災害が取り上げられ、災害の規模だけでなく、行政や地域での取組が紹介され、「自助・共助・公助」の視点で自然災害対策について学び、自然災害における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫・努力等が分かる内容になっている。

○5年「自然災害から人々を守る」の単元では、「災害が起きやすい要因」、「影響」、「国や地方自治体の対策」、「自分たちにできること」という流れで学習することができる内容になっている。

観点9について

○5年「情報社会に生きるわたしたち」の単元では、「新聞が作られるまで」を中心に、「気象」「販売」「報道」「情報化による生活の変化」について学び、情報の生かし方について考える構成になっている。また、農業や水産業、林業がかかえる課題として、農業で働く若い人の減少と高齢化、後継ぎ問題について記述がある。

観点10について

○4年「47都道府県を旅してみよう」の単元では、教科書QRコンテンツ

	<p>「すごろくアプリケーション」により、都道府県の位置や名称と特色に親しみながら我が国の47都道府県の名称と位置を身に付けることができる内容になっている。</p> <p>○5年「世界の中の国土」の単元では、正距方位図法とメルカトル図法の両方が示されている。地図上に地形と17カ国の国の位置と国旗、名所、名産品等が配置されている。国毎に色分けがされており、国境や広さを捉えやすい。</p>
--	--

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
地図	2	東書	新編 新しい地図帳

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の目標達成に結び付く内容になっており、児童が興味関心をもって地図に親しむことができる内容となっている。 ・全ての文字にルビがふってあり、3年生から6年生までの発達段階に応じたの使用が可能である。3～6年生までの学習内容を全て網羅している。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・日本地図では、都道府県が見開きで認識することができる。隣接する国々も明記されており、分かりやすい。 ・第6学年の歴史、世界への視野を広げることができる内容も掲載されている。(年表と世界と日本地図)(領土の変遷)
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域の内容に偏りがなく調和がとれている。明瞭簡潔であるため分量はやや少ない。情報量が少ないことによる活用しやすさはある。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・市、県と視野を広げて段階的に学習できる構成になっており、土地の使われ方、土地の高低(色分け)、農産物、工業、特産物が明記されており、学習を進める上で関連をもたせた内容になっている。 ・領土に関しては、実際の現地写真も選抜して掲載している。日本の国土面積など統計資料を掲載している。 ・発展的な内容については、「ホップステップマップでジャンプ」が区別されて明記され発展的な学習内容である。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切で、表面は塩ビ加工で水にも強く、ブックカバーもあり、4年間の使用に耐えられるよう作製されている。
教科ごとの選定の観点	<p>観点1について</p> <p>○各学年の单元ごとに、対応する資料が掲載されており、調べ学習の活用がしやすい。デジタルコンテンツにも対応しており、(QRコードなど)タブレット端末を利用した学習の展開も十分に考えられる。</p> <p>観点2について</p> <p>○見開き1ページで日本の国土を示し、各方位の端を示している。問題となっている島については別ページに写真で提示して理解できるようにしている。</p> <p>観点3について</p> <p>○QRコンテンツを利用して白地図を使用して、自分たちの住む都道府県の学習をまとめることができる。事例地地図帳で確認することに加え、ドローン動画を見ることで紙面ではとらえにくい地形の広がりや土地利用の様子について理解しやすくなっている。</p> <p>観点4について</p> <p>○地図を使った学習にスムーズに進めることができるように、方位や地図記号、地図帳の使い方をクイズ形式で、距離の測定や等高線については動画で地図の仕組みや約束事が分かるようにしている。</p>	

観点5について

○統計資料を基に世界各国の正式な国名が確認でき、世界各国の国旗も地域別に分類されて掲載されている。

観点6について

○「子どもが開きたくなる地図帳」をコンセプトに、「作業の問題の例」「問いの問題の例」を軸に地図を活用する知識・技能や地図から発展させて考える力の育成が見込める。

観点7について

○日本の都道府県の統計（都道府県・県庁所在地と人口・面積・人口密度・農業生産額・漁業生産額・工業生産額・年間商品販売額・国宝、重要文化財の数・主な伝統工芸品・主な農水産物・郷土料理）は、出所・出典（総務省資料・生産農業所得統計、工業統計調査）が明示されている。

○世界の主な国の統計（国名・首都・面積・人口・人口密度・主な言語・日本への輸出額・輸出品目・日本からの輸入額）は、出所・出典（外務省資料、財務省貿易統計、国際連合資料 2020 年）が明示され、最新のものである。

○デジタル教科書においては、統計資料が最新のものに更新される。教科書統計とはずれが生じるが、変化を読み取ることも可能である。

○各学年の单元ごとに、対応する資料が掲載されており、調べ学習の活用が行いやすい。デジタルコンテンツにも対応しており、(QR コードなど) タブレット端末を利用した学習の展開も十分に考えられる。

○特にこれまで6年生での地図帳の活用が難しかったが、歴史年表を基に世界の中の日本を考えることができる。また、写真資料が鮮明であり、視認しやすい。

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
地図	4 6	帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の目標達成に結び付く内容になっており、児童が興味関心をもって地図に親しむことができる内容となっている。 ・全ての文字にルビがふってあり、3年生から6年生までの発達段階に応じたの使用が可能である。3～6年生までの学習内容を全て網羅している。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・第6学年の歴史、世界への視野を広げることができる内容も掲載されている。(年表と日本地図)(領土の変遷)
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域の内容に偏りがなく調和がとれている。地図の活用など焦点化した部分は丁寧に説明されているため分量はやや多くなっているが、授業の活用に適当である。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・市、県と視野を広げて段階的に学習できる構成になっており、土地の使われ方、土地の高低(海拔記載有)、農産物、工業、特産物が明記されており、学習を進める上で関連をもたせた内容になっている。 ・領土に関しては、実際の現地写真を添えて領空なども立体的に示していて理解しやすい。日本固有の領土と境界の島とを分類して掲載している。 ・発展的な内容については、「地図マスターへの道」が区別されて明記され発展的な学習内容である。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切で、表面は塩ビ加工で水にも強く、ブックカバーはないがしっかりと製本されていて4年間の使用に耐えられるよう作製されている。
教科ごとの選定の観点	<p>観点1について</p> <p>○各学年の单元ごとに、対応する資料が掲載されており、調べ学習の活用が行いやすい。デジタルコンテンツにも対応しており、(QRコードなど)タブレット端末を利用した学習の展開も十分に考えられる。</p> <p>観点2について</p> <p>○特に日本の国土(領土)に関しては、問題となっている島々を写真で掲載し、「日本固有の領土」と区別して位置付けている。領空に関しても認識が難しいが、立体描写で理解しやすい。学習指導要領に記載される「わが国固有の領土」として島の位置も明確で児童にとって理解がしやすい。</p> <p>観点3について</p> <p>○QRコンテンツを利用して白地図を使用して、自分たちの住む都道府県の学習をまとめることができる。白地図も必要な条件のみの情報提示も可能で活用しやすい。事例地地図帳で確認することに加え、地形の広がりや土地利用の様子が色彩で示すことで理解しやすくなっている。</p> <p>観点4について</p> <p>○地図の活用が円滑に進むよう、3年生に地図の約束として10ページにわたって学習することができる。(方位や縮尺、土地活用など地図の意味が分かりやすく解説されている。)</p>	

観点5について

○統計資料を基に世界各国の正式な国名が確認でき、世界各国の国旗も地域別に分類されて掲載されている。

観点6について

○「豊かな学びを実現する」をコンセプトに地理単元だけでなく、他教科、歴史学習においても活用できるようになっている。日本とつながりの深い国については、各国の自然や文化など特徴を表したイラストを掲載し、英語表記も取り入れている。

観点7について

○日本の統計（都道府県・県庁所在地・人口・各産業の生産額・くらしと環境・主な伝統工芸品）おもな農産物・工業製品の生産地記載）は出所・出典（農林水産統計 2020 年工業統計調査、全国都道府県市町村別面積調）が明示されている。

○世界の統計（国名・首都・面積・人口・人口密度・日本への輸出入額・輸出入品目・日本からの輸入額）は、出所・出典（財務省貿易統計、世界人口年鑑 2020 年）が明示され、最新のものである。

○デジタル教科書においては、統計資料が最新のものに更新される。教科書統計とはずれが生じるが、変化を読み取ることも可能である。